

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 「少子化」克服への処方箋は（世帯支援編）（45分）</p> <p>一昔前の典型的な家族の姿としては、子供たちと、その親と祖父母との三世代での同居が多くみられました。</p> <p>しかし、近年では核家族化の進展と相まって、子供と親の二世代世帯や夫婦のみの単独世帯が多くなっているようです。</p> <p>一昔前の家族には、世帯主である親世代が子供を養い、祖父母を敬いながら、そして、その様子を見ながら育った子供たちには年長者への思いやりが芽生え、その思いやりを満たした家族が一つになった共に支え合う「強い家族」の姿がありました。</p> <p>その「強い家族」は、世帯員数が多いため、家庭や地域とのかかわりの中で、やがて地域の役職に就いたり、地域行事への継続的参画や自主的参加など地域にとっても心「強い家族」なのであり、その貢献度合いには多大なものがあります。</p> <p>このように地域への「貢献家族」を増やす政策こそが今日的な様々な行政課題を改善するうえでの一助となると思います。</p> <p>そこで、本市の多世代世帯支援についての見解を伺うため、以下、質問を致します。</p> <p>(1) 本市の多世代同居世帯数は。（三世代以上）</p> <p>(2) 多世代世帯の本市における利点について。</p> <p>(3) 多世代世帯において祖父母世代は孫の養育役になりうるか。</p> <p>(4) 多世代世帯は家族の連帯感や尊敬の心を育むか。</p> <p>(5) 多世代世帯は行政が行う保育の受け皿になりうるか。</p> <p>(6) 多世代世帯は市が負担する保育経費、医療経費等の軽減につながるか。</p> <p>(7) 多世代世帯への税等の軽減措置の考えは。</p>	<p>市長</p> <p>教育委員会教育長</p>